

中村です。

わたしは主に4つの項目について質問します。

### (一) ボートピア

最初に(仮称)ボートピア津幡について質問いたします。以下ボートピア津幡というのはすべて仮称ですのでよろしくお願いいたします。

ボートピア津幡とみどり市との関係が具体的に知られるようになったのはごく最近のことです。みどり市には、今年の1月28日、みどり市議会全員協議会(競艇問題特別委員会)で、初めて正式に、ボートピアの運営会社側から津幡町への進出が示されたそうです。そのとき津幡町という名を初めて聞く議員もいて、津幡町はどこにあるのかという質問もでたということです。

そこでの協議を受け、翌29日急遽、みどり市側は津幡町への訪問を申し出て、31日村町長不在にもかかわらず、みどり市長始め計5名が非公式に津幡町庁舎を訪れました。津幡町からは副町長、正副議長、中田議員、洲崎議員、山崎議員、舟橋区長が対応。同日みどり市長はグットワンやWF企画関係者とともに現地視察を行ったということです。

このことを知った、前田議員、塩谷議員、わたしの3人は2月8日、みどり市長に面会、約1時間会談いたしました。さらに12日、15名の津幡町民がみどり市庁舎を訪れ、競艇事業の津幡進出をやめるようにと要望しました。実際にみどり市へ行ったことで、わたしたちは恐ろしい事実を知りました。

そのひとつに、施行者である自治体みどり市は、実際の運営会社である(株)グッドワン及びその親会社である関東開発(株)に責任を丸投げし、みどり市は一切の責任、リスクを負わないということがあります。

昨年、モーターボート競艇に関する法律が変わり(改悪)、私人委託等が可能となりました。(これによって、施行者である自治体は、民間である運営会社にすべての責任、補償等を丸投げできるようになります。)桐生競艇場の施設を実際に所有管理しているのが関東開発(株)ですが、施行者であるみどり市は、実際の運営会社であるグッドワン及びその親会社である関東開発との間で結ぶ協定案を作成し、弁護士を間に入れて、民間である運営会社にすべての責任、補償等、ボートピア撤退等の補償問題も含め、以後なんら自治体が責任を負うことがないような協定を結ぶつもりでいます。

みどり市長はわたしたち女性議員3人を前にして、津幡町のボートピアをグットワンに全面委託し、「みどり市は津幡進出に際し、一切責任を負わない。運営会社であるグットワンに責任を負わせる。」とはっきりいいました。

民間に全面委託する代わりに、施行者みどり市は、売上げ額や収益に関わらず年間2億円と競艇場である阿左美沼や駐車場の賃貸料として年間3億円、合計5億円を手に入れることができます。これを黒字保障システムと呼ぶそうです。みどり市はこの黒字保障システムによりリスクを負わないことになっています。

本当に責任を負えるかどうかは別として、リスクを負ってまでもポートピア津幡をやりたいというのがグッドワン及びその親会社である関東開発です。

2000年に開業した青森県のポートピアなんぶは、みどり市が施行者となっていますが現在は赤字です。現在このポートピアなんぶを、関東開発の子会社である(株)ポート・ネットワークという会社が運営しています。グットワンはこの赤字のなんぶをひきうけるから、その条件として新しくポートピア津幡をやらせてくれといっているのです。

どうしてみどり市長が1月31日に急遽、津幡町を訪れたのか。

どうしてグットワンは赤字のポートピアなんぶを引き受けてまで、ポートピア津幡を運営したいのか。町長、なぜだと思いませんか。

資料(株)グットワンは、関東開発(株)の関連会社である。(株)ポート・ネットワークは関東開発の関連子会社である

この背景には、桐生競艇の運営委託先であり民間業者である関東開発(株)から、みどり市が津幡進出か否かの決断を早急に迫られたという状況があるのです。関東開発が、進出か否かの最終決断を1月末までにみどり市側に迫っていたということです。

はやくポートピア津幡をやりたいのは、運営会社なのです。

(株)グットワンは、(株)ポート・ネットワークが運営している赤字のポートピアなんぶを引き継いででも、競艇事業全体の売上金を増やすために、なんとしてもポートピア津幡をやりたいと、みどり市に津幡町との行政間協定を結ぶことを急がせているのが現状なのです。

いいですか。競艇事業の売上げは平成3年をピークに減少するばかりです。だからポートピアを増やすことで、競艇事業全体の売上金減少をすこしくいとめたい。

なぜ新しく、ポートピアを作りたいのか。みどり市長のことばを借りれば、「チャンネルを増やす」ということです。市長のブログの一部に、次のようなことが書かれています。

今さら言うまでもないが、桐生競艇も他の公営ギャンブル事業と同じく、先行き不透明で自場においては売上げや入場者数も決して好調とはいえないが、他場での舟券発売やポートピア(場外舟券売場)、それにケータイやインターネットでの舟券発売などで売り上げをカバーしているといったところである。これから将来のことを考えると舟券販売チャンネルの増加を考えなければならず、この日の議会全員協議会でもこのことが議題にのぼった。

とあります。みどり市長が言った「舟券販売チャンネルの増加」とは、そのチャンネルのひとつがポートピア津幡をさしているのです。

さらに市長は、みどり市と運営会社との間にWIN-WINの関係を築くための方策として、舟券販売チャンネルを増やさなければならないと考えています。

WIN-WINの関係とは文字通り、みどり市と運営会社の両者がともに勝って、勝つ、いい目を見ろということ。みどり市、津幡町、運営会社の三者で唯一貧乏クジを引かされるのが津幡町なのです。津幡町に対して最後まできちんと責任をとるのかとらないのかという点では、責任を負わないといっているみどり市とは、津幡町は行政間の協定を結ぶことはできないと、町長ははっきりいべきです。

津幡町のことなど、まったく考えていないのですから。

みどり市は委託事業としてグットワンにポートピア津幡の運営をまかせても、最終的な責任までは丸投げできないはずなのだから、「責任を負わない」とみどり市が言いきる限りは、町長！町長！津幡町はみどり市と行政間協定を結ぶべきではありません。

## 1) 責任の所在に関する質問

何度でも繰り返しいいますが自治体であるみどり市は、民間会社にその責任を丸投げしていません。

さらに村町長は「グットワンに一切を委託します。」と昨年6月定例会でも答弁され、津幡町はグットワンに一切をお任せすると言いました。みどり市もグットワンに全面委託し、責任をとらない、リスクを負わないと言っている。

このままみどり市と行政間協定を結べば、苦情や補償等の全責任は、民間会社である(株)グットワンがとることとなります。

津幡町は今後発生するあらゆる諸問題については、(株)グットワンに対してその解決を求めていくこととなるでしょう。

民間会社にすべての責任が負えるのですか。売上げ金のチェックは自治体ができるのですか。民間会社に丸投げしておいてチェック機能が働きますか。できるわけありません。

また(株)グットワンが倒産、あるいはそれに近い状況に陥った場合、ポートピア津幡から生じた問題に対して、一体だれが最終的な責任をとるのか。全国でも初めてのケースといえる民間会社主導の運営に、町長は津幡町民に対して安全、安心の生活を約束できるのですか。

そもそも民間会社主導の運営を、公営ギャンブルといえるのですか。

## 2) 町長、すぐに、住民に対して町主催の説明会を開いてください。

地元同意をもとに町議会は、ポートピア津幡設置の請願を採択し、町長は地元が賛成し議会も賛成したからと、ポートピア津幡を容認しました。しかし、その根拠である地元同意に疑惑が持たれています。たった36人の賛成で地元の同意がとられたとし、その証拠資料すら公開せず秘密にしています。公開して困ることがあるのかと疑念を持たれても当然ではないですか。そして町長は、いまだ地元同意の実情を明らかにせず、町民に対しても説明会すら開いていません。

2月19日の町長への公開質問会に際し、坂本総務部長は、ポートピアの説明会は町が主催するものではなく、運営会社がするものだと言いました。しかし、この言葉は問題のすり替えにすぎません。ポートピアを受け入れる是非を考察する場には、運営会社の出る幕はないからです。みどり市と行政間協定を結ぶ前に、町はポートピアがどういうものか、ポートピアができれば町はどんな影響を受けるかなどを町民に説明するべきです。ポートピア計画への町民の疑問に答えるのは、あくまでも町の責任です。町は説明会も開かず、説明会までもグットワンにお任せし、ポートピア全般に対しての町民のコンセンサスを得ることなくして、このままポ

ートピア津幡を作るつもりですか。このままでは、ポートピア受け入れを表明した町長は、町民に対する説明責任を一切果たしていないことはあきらかです。町民を無視し愚弄すること、はなはだしい。

3) ポートピア津幡の売上げ額に関する町長の見通しについてお聞きします。

ベテラン議員のみなさまは、ポートピアなんぶへ視察に出向かれ、ポートピアなんぶを手本にポートピア津幡誘致を計画したのだと聞いています。

そのお手本にしていたポートピアなんぶが今や赤字を重ね、津幡町と同規模の南部町には、当初見込みの4000万円の、わずか5分の1以下、730万円の環境整備費しか入ってこないということです。

資料\*みどり市が2000年に開設した「ポートピアなんぶ」において、南部町は開設当初、売り上げの1.5%、毎年4,000万円の収入を見込んでいたが、その後1.0%、0.5%と推移し、2007年度では、年間730万円となっている。(南部町は、年間の一般会計が約110億円。)

津幡町も、この二の舞を踏むことは十分に予想されます。競艇を取り巻く状況は悪化しており、津幡町に対する1パーセント保障をきらって数年のうちにグットワンがポートピア津幡を手放すことは十分に予想されることではないですか。いったん荒廃した郷土はもとには戻らない。人心の荒廃、またしかり。みどり豊かなこの郷土は一時の拝金主義に毒され二度ととりもどすことができないような惨状となることは、目に見えているではないですか。

経営が悪化する一方の競艇事業は、全体の売上げをあげるために、無理な事業拡大を続けているのです。ポートピアなんぶが駄目なら、次は津幡、津幡が駄目になったら次は・・・と平和な町を食い散らかし、目先の売上げを追いかけている。ポートピアに伴うリスクは増大しているのが現状なのです。

町長はポートピアの売上げはいくらで、それはどう変貌すると考えているのか。ポートピアの将来に、どんな見通しを持っているのか。ポートピアが経営不振に陥ったとき、どうするつもりなのか。

資料\*グットワンがみどり市に提示した(仮称)ポートピア津幡関係資料によると、(開設当初と2年目までの売り上げは31億6,800万円とし、)3年目からは総売り上げは毎年10%ずつ減少すると見込こまれ、5年後には開設当初の売り上げの約3割減としている。推進開発会社の甘い見通しですらこうなのだから、その先は下降する一方ではないか。町長はポートピアの将来に、どんな見通しを持っているのか。ポートピアが経営不振に陥ったとき、どうするつもりか

4) ポートピア津幡による弊害について質問します。

津幡町に移り住んできた年配の方がポートピアについて、ごく最近わたしに話していたことをぜひ町長にも、ポートピア賛成のみなさんにも聞いて欲しい。

その方がいうには、

「近くにあんなできたら、行く人、おるわな。なければ行かんけど、近くにできれば、金、持っていくわいね。三国競艇とか富山競輪とか、そんな遠いところまでいかん人も、近くにできれば行くわな。津幡のこの辺の人かて行くわいや。で、ほとんどの人はすってしもうからな。わしも若い頃よういったけど、なんもいいこと無かった。金無くなるしな。で、お父さん金使って、家族ですったもんだするやろ。たくさん問題が起こるやろ。のめり込むと借金してまで、損した分取り戻そうとするしな。問題起こる。ほんで、町に2400万円か3000万円か知らんけどそんだけしか入らんのに、津幡の人間が何億円も吸い取られて、その金のほとんどはどっか、みどり市とかほかにいっちまうやろ。津幡の懐の金が外へと流れるわいね。(こんなギャンブル場作らんでも。企業を誘致するとか、もっと他にお金が入ってくる方法があるやろ)」とおっしゃっていました。

聞いていて、わたしは涙が出てきてしまいました。

町民の大多数は同じ意見であると、わたしは思います。

ポートピア津幡から30億円のお金が吸い上げられるとしたら、津幡町に入ってくるお金は環境整備料としてわずか1パーセント、3000万円。さらに、ギャンブルによる弊害を津幡町は背負うことになります。

グットワンがみどり市に提出した、ポートピア津幡に関する資料によれば、ポートピアの客の10パーセント余りが津幡町民と見込まれています。津幡町民の懐からそれ相応のお金が奪われるのです。まったくおじいさんが言っていた通りになると思いますよ。津幡町民の懐が、ポートピアで潤うとは考えられません。

町長は広報で「一切の財政支出をすることなく収入として期待できる」とおっしゃっていますがそれは、町民の収入を削ってのものだと、町長はお考えか。本来ならばもっと建設的に使えるお金が、ギャンブルの寺銭として他県に流出していただけなのですよ。

いいですか。公営ギャンブルに詳しい人ならば、だれでも知っていることではと思いますが、有り金勝負で10回舟券を買えば、だれが勝者になるかに関わらず、最初の掛け金の95パーセントが胴元にかっさらわれる仕組みとなっているのです。

これも何度でもいいですが、

ポートピア津幡ができることによって、ギャンブルに付きまとう多くの問題が生じることが懸念されてます。治安の悪化、青少年への悪影響、家庭生活での悪影響、交通問題の心配等と、精神面、文化や教育面にも悪影響しかもたらさない。

地元住民組織や関係機関を構成員とする運営委員会を設置する理由は、ギャンブル場ができることにより、まさに治安上の悪影響を受けると考えられるからであって、運営委員会を置いて見張りやチェックをしなければ不安で、安心して生活できないというような津幡町に、なぜ町長は賛同、容認するのですか。町の財政規模のわずか0, 2%の環境整備費に、財政難だからという理由は、通用しません。

また近隣他市町にとっては、市民の富がただ吸い上げられるばかりで迷惑以外のなにものでもありません。

町長は金沢市長やかほく市長、内灘町長にお会いする機会も多いと思いますが、みなさん、口には出さなくとも、津幡町はやっかいなものを作ろうとしているなと思っていると考えられますが、いかがですか。

金沢市に競輪の場外車券売り場が作られると聞いた衆議院議員の自民党の馳浩議員は、ブログの中で

「唇が震えるほど腹が立つ。朝一番の飛行機で金沢に戻り、地元の北國新聞、社会面を開いたとき。なんと、「歴史と文化に責任を持つ」北陸の小京都のこの金沢の駅西地区に、競輪の場外車券売り場誘致建設の計画があるという。さっそく情報網を使って調べると、大徳地区だと言う。そりゃあんまりだろう！

（計画されている地域は、大徳小学校、大徳中学校、金沢市立工業高校、金沢西高校などが立ち並ぶ文教地域であり、住宅街でもあり、金石街道の隣接地。）こんな住みよい町に場外車券売り場誘致だなんて、大反対だ！」と書いてありました。

このあと馳議員は山出市長や奥田建民民主党県連幹事長とも話し合い、金沢市にふさわしくない施設に反対していこうと意思を確認し合ったということです。郷土を愛し、教育環境を憂える人ならば、党を越えて、しほりを越えて地域を守るために連帯するのが本来の政治家（わたしたち）の姿勢ではないでしょうか。

町長はポートピアが近隣市町にとってもいいものだと思っているのですか。

資料（町長は財政難を理由に、1%の環境整備費を「本町が一切の財政支出をすることなく収入として期待できます。」（2006年11月「広報つばた」に掲載）とし、（仮称）「ポートピア津幡」設置計画に対しその所見を述べている。（仮称）ポートピア津幡関係資料によると、津幡町民の参加率は0.20%、1日74人が舟券を買いに行くと予想されている。この関係資料によると、年間360日開催、一人あたり平均1,200円使うとして、年間の総売上げを31億6,800万円と見込んでいる。この計算方法に従えば、津幡町民が舟券に使うお金は年間3億1,968万円となる。環境整備費として1%の3,168万円が津幡町に入ってきたとしても、津幡町からでていくお金はその10倍以上だ。配当金等を考慮したとしても、津幡町から出て行くお金の方が、入ってくるお金より圧倒的に多い。）

5) (株) グットワンから2007年1月9日に提出された同意条件確約書に関する疑問点をお尋ねします。

- a) 同意条件確約書（6）における「（仮称）ポートピア津幡の運営と周辺環境、住民対応等への協力のため、地域住民組織や関係機関を構成員とする運営協議会」は、(株)グットワンが設置する組織であり、(株)グットワン主導で運営されることになることとすれば、(株)グットワンにとって都合のいい構成員ばかりが選ばれることとはならないか。また構成員が金品や饗応などにより(株)グットワンにとって都合のいい判断をするという危険性はないのか。
- b) 同意条件確約書（7）における「アルコールは厳禁とすること」とはアルコール類の販売を厳禁することなのか、会場内での飲酒を厳禁することなのか、アルコール類の持込を厳禁するという意味なのか、飲酒酩酊者の入場を厳禁することなのか

のか。まったく不明瞭である。町長はこのようないいかげんな表現を認めたくらんで、同意書を（株）グットワンに提出したのか。

- c) 同意条件確約書（9）において「運営、管理、協議について古澤英彦氏に一切を委任し」とあるが、「（仮称）ポートピア津幡」運営に関し、津幡町は一切関与できず（株）グットワンに丸投げするということか。重大な問題が起こったときにも津幡町から協議をよびかけることもできず、すべてを（株）グットワン側の判断にゆだねるとのことか。
- d) さらに同意条件確約書（9）において提出者である（株）グットワン代表取締役社長古澤英彦氏が、自分のことを「古澤英彦氏」と呼称しているが社会通念上、自分に「氏」をつけたものを公文書として受け取る常識のなさに違和感を持たなかったのか。ポートピアに関する主な質問は以上ですが。

続いて再質問いたします。

町長、津幡町の一等地はどこだと思いますか？もうすぐ3月15日、津幡北バイパスが開通し国道8号線へと昇格され、さらに7月には東海北陸自動車道が開通する予定で、津幡町と名古屋は約2時間で繋がりますね。そうなれば今日本でもっとも経済的に元気な都市であり、もっとも活力のある名古屋を初めとする中京圏とわずか2時間でむすばれることとなるのです。そうなれば加賀、能登、越中を繋ぐ津幡町は、中京圏とも結ぶ要となり、石川県内でもっとも交通路にめぐまれた場所となります。舟橋ジャンクションはその要であり、しかも津幡町の玄関口となります。今後県内でもっとも発達が予想され、今後、土地は値上がりすることも考えられる。舟橋地区の地権者のみなさんは、今グットワンに土地を売ると大損することになるかもしれません。

この一等地の使い方を、津幡町はよくよく考えるべきです。中京圏から津幡町へやってくる人たちはまず、ポートピアを目にし、津幡町はギャンブルの町と印象づけられる。ポートピアができれば、他の企業は近寄りません。寄ってくるのは、ポートピアと同類のパチンコ店ばかりとなるでしょう。最高のロケーションを最低の施設で売り払う津幡町。将来もっとも発展が期待される一等地にポートピアですよ。

町長、本当にもったいない。ここへは日本有数の企業が立地するにふさわしい。あるいは津幡町が自信をもってアピールできるものがふさわしい。ポートピア誘致の請願が議会で採択されたときからみると、状況はどんどん変わっています。町長、一等地にポートピアとは情けない。よくよく考えてください。考え直してください。今ならまだ間に合います。町長、現在のこの新しい状況に向き合った今こそ、ポートピア誘致の考えをどうか、検討し直してください。町長の勇気ある「ポートピア誘致断念」のひとことで、町民は救われます。

## （二）津幡町の地方債について

成美堂出版から出版されている「今がわかる時代がわかる日本地図2008年版」に、全国町村の地方債現在高（2005年度末）のワースト・ワンから30位までの町村の名前が載っ

ていました。総務省による「平成17年度市町村決算状況調べ」

によるもので、2005年度末の地方債現在高の高い町村の順番に載っているのですが。それによると全国で約820ある町のワースト・ワンは長崎県の新上五島町（しんかみごとう町）の377.0億円、2位が島根県の隠岐の島（おきのしま）町の312.9億円、3位が石川県能登町の288.9億円・・・そして津幡町は全国でなんと19位、221.7億円の地方債をかかえているとありました。上位にランクされている町村の多くが、平成の大合併で誕生した町であり、合併前の旧町村が抱えていた債務がそのまま新しい町に引き継がれている結果であると分析されていました。

しかし、津幡町は合併もしていない。津幡町は金沢市に隣接し、全国ワースト・ワンやツアを占める離島のように地理環境が悪いわけでもなく、人口は増加傾向にあり一般財源も徐々にではあるが増えている。大きな災害も受けていない。夕張のように基幹産業が衰退したわけでもない。なぜ全国町村ワースト19位という多額の地方債をかかえることになったのでしょうか。

このような多額の地方債をかかえることになった理由、それはいつごろから始まったのか。一体なんの支出によるのか。この原因は何かをお尋ねします。

### (三) 2008年3月定例会 公園事業と北部公園について

津幡北部地区まちづくり交付金事業の一貫である北部公園事業は総額20億円、完成予定は平成27年度とされ、津幡町にとってとても大きな事業といえます。北部公園はまちづくり交付金事業が終わる平成22年までには約12億円の予算を組んでいると聞いています。「次期事業につきましても、あらためてまちづくり交付金事業の採択を考えております。」というのが昨年6月定例会での町長の答弁でした。

そこで、昨年に引き続き、公園についていくつかの質問をさせていただきます。

公園の維持費について質問します。平成20年度予算では町営五ヶ所の公園の維持費として合計2067万9000円が計上されています。昨年度は中条公園に約590万円、住吉公園に約440万円、中央公園に約320万円、しらとり児童公園に60万円の維持管理費がかかり、平成20年度予算には、この四ヶ所の公園の広場管理委託料として1470万円が上げられています。各公園の管理委託とは具体的にどのようなことをさせているのか。なぜ委託なのですか。

これらの公園の維持に関わる費用は、当初から見込まれていたものなのか。

これは競争入札によるものか、随意契約によるものか。をお聞きします。

次に北部公園についてです。北部公園は平成20年度早々には工事着工の見込みだそうですが。そのために平成20年度には1億5000万円の予算が組まれ、その内訳は地方債1億1250万円、一般財源から3750万円で合計が1億5000万円です。総額20億円の公園が必要かどうかについては、今日は質問する時間がないので、維持費についてお聞きします。2月22日に開かれた津幡北部地区まちづくり委員会に、わたしは初めて参加いたしまして、そこで北部公園の設計図や模型を拝見いたしました。雨水調整池、水遊び噴水広場、芝生の運



動場、フラワーガーデン、イベント・ステージ、公園と公園とを繋ぐ高さ5メートルばかりの陸橋等の計画案についてが提案され、それに対し委員会に出席された周辺地域の町民の方々からさまざまな質問が出されました。一番心配されていた意見は、雨水調整池の排水等や水周りについてと、池の水質が悪化しないような維持方法、噴水に上水道の水を使うことへの懸念、日陰対策、完成後の公園の維持費等に関してだったと思います。

北部公園を設計する際、完成後の維持費を試算することは大変に重要なことです。

「閑古鳥、鳴く公園も、喰う予算」という川柳を作った方がいて、わたしはどの公園もこの川柳のようにならないよう、管理維持費を念頭においた設計が不可欠だと思います。

北部公園の管理費、維持費に、どのくらいの費用がかかるのか、試算されていますか。

公園の維持管理には「サステイニング」（持続可能な方法）などの、町民参加型という考え方もあり、また「メンテナンス・フリー」という考え方もあります。

このような考え方を取り入れてみてはどうだろうか。完成当初は立派な公園でも、維持管理にたくさんのお金がかかっては困ります。完成後も長く住民に親しまれる公園にしていくための維持管理方法を吟味し、そのための管理費用が適切な金額か、無駄はないか、公園工事着工前の設計の段階で、十分に考慮されるべきであると思います。

#### (四) 河合谷小学校の校舎について

河合谷小学校の校舎を今後どのように使用していくのか、校舎の利用方法を考えているのか。新聞報道では、校舎を壊すとあったが本当ですか。本当ならその理由はなんですか。取り壊しの場合、「公立学校施設整備補助金等に係わる財産処分手続」において問題は発生しませんか。発生するとしたらどのような問題が発生するのか。教育長に質問します。

次に町は、校舎の活用に関してあるいは今後の河合谷地域に関して、河合谷地域の人々の意見を聞き、話し合う場を設けることを考えていますか。町長にお聞きします。

以上で質問を終えます。わたしは、今日与えられた時間30分をギリギリ使ってしまいそうなので早口で質問してしまいましたが、町長、町長はゆっくり答弁してください。町長も時々早口になるので、言葉を聞き取れないことがあります。よろしくお願いします。